

2019 ジャパンパラ要項
14 参加資格・制限【別表】

日本身体障がい者水泳連盟（以下「身水連」）登録者

- 1 身体障害者手帳を所持している者
- 2 2019 年度身水連に選手登録をしている者
- 3 次の競技会のいずれかにおいて、別紙「実施種目及び標準記録一覧表」（以下「標準記録」）に示す標準記録に達している者
 - ・2018 年度：第 35 回日本パラ水泳選手権大会
2019 パラ水泳春季記録会
2018 年 9 月 25 日以降に開催された WPS 公認大会
 - ・2019 年度：第 29 回東北身体障がい者選手権水泳競技大会
第 33 回関東身体障がい者水泳選手権大会
第 26 回中部障がい者水泳選手権大会
第 30 回近畿身体障がい者水泳選手権大会
第 25 回中国四国身体障害者水泳選手権大会
第 30 回九州障がい者水泳選手権大会
2019 年 4 月 1 日以降に開催された WPS 公認大会
- 4 聴覚障がい者を除き、WPS の規則に基づくクラス分けが済まされ、「C」、「R 西暦」、「R」、「J」、「JR 西暦」、「JR」、「L」、「L 西暦」、「LR」のステータスであること。
※ステータス「JR2019」以前のもの（2019 を含む）、「L」、「LR 西暦年」、「LR」ならびに身水連から連絡のある場合は、クラス分けを受けなければ出場できない。また、「19 クラス分け」の項を確認すること。
- 5 大会当日 19 歳以下で別紙標準記録を達成していない 19 歳以下（大会当日の年齢）で第 35 回日本パラ水泳選手権の標準記録を達成している選手は、50m 自由形（予選）のみオープン参加することができる。（ただし決勝には出場できない。記録証は発行する。）
- 6 オープン参加の選手を除き、標準記録を 1 種目以上達成している選手は、5 種目まで出場できる。IPC ライセンス登録者で、標準記録を 1 種目以上達成している選手は、7 種目まで出場できる。ただし標準記録を達成していない種目に参加する場合は、その種目の標準記録相当のタイムで泳がなければならない。なお、傷病または不測の事態等の正当な理由がなく棄権することは認められない。
- 7 身水連から推薦を受け、主催者が認めた者

以上